



大森委員と渡邊さん

がんばる ファーマー応援記

Vol.11

このコーナーは、町内でがんばっているまたはがんばろうと考えている農家を支援する農業委員の活動を紹介します。

地区担当農業委員

大森 政 男 委員

認定新規就農者 豊津

渡邊 剛さん (45歳)

今回は、豊津で新規に就農した渡邊剛さんにお話しを伺いました。自らの手でおしゃれな古民家風のリフォームされた住宅へ私たちを迎え入れてくださいました。

▼渡邊さんの営農状況を教えてください。

「剛さん」 露地で無農薬野菜を栽培しています。少量多品種での経営を目指して就農しました。今は35aの畑で30種類以上の品目を扱っています。

▼就農のきっかけや経過などを教えてください。

「剛さん」 私は幼少の頃アトピー性皮膚炎で悩まされ、食べ物の原因ではとのことから、母が無農薬野菜を苦労して手に入れてくれました。そんな姿を見て、いろいろな種類の無農薬野菜、安心して口にできる野菜を作りたいという思いから就農しようと考えました。

そんな時、下半俵で成澤菜園を経営されている成澤氏の記事のある紙面で拝見し、無農薬野菜を栽培されているこの方の下

で研修を受けたいと考え、平成26年4月から1年間、研修生として受け入れていただくことになりました。

研修期間中から農業委員会に相談する等、物件探しを始めていましたが、幸いにも、趣味のサイクリング中に理想だなと見ている農地と空き家をセツトで借りることができ、平成28年2月に就農しました。

▼剛さんに一言お願いします。

「大森委員」 「継続は力なり」の言葉を贈ります。35aの農地を一人でやっていくことは簡単なことではありません。販路を見つけることも重要ですが、困ったときにすぐ相談できる人が近くにいることも大切です。そんな人を見つけたら、就農するきっかけとなった思いを大切にがんばってください。



渡邊さんの野菜は、下半俵の成澤菜園と柏台のマニワファームで購入することができます。

編集後記

編集委員 摩庭 令子

秋の収穫も終盤を迎えようとしています。今年も不安定な天候に悩まされましたねえ。

私たちが生きていくうえで最も大切なことは、「食べる」ことだと思います。その「食べ物」を作ることの大切さを今さらながら感じるこの頃です。

先日、小学校を訪問して子どもたちと給食を頂く機会がありました。元気に、おいしそうに給食を食べる子どもたちを見て「食」のおおもとを作る私たちの責任は重大だと感じ、また、もつとお米や野菜のおいしさを、そして食べることの大切さを伝えていかなければと思いました。

素敵な先輩たちと共に、模索しながらも少しでもお役に立てたらと思うこの頃です。

編集委員長

池澤 敬子
高柳 文浩
大平 康市
松浦 一雄
摩庭 令子